

健康福祉委員会資料

(健康福祉局関係)

1 陳情の審査

- (1) 陳情第92号 新型コロナワクチン接種中止に関する陳情
- (2) 陳情第93号 インフラ事業者のワクチン優先接種に関する陳情
- (3) 陳情第94号 タクシー運転手のコロナワクチン接種の優先に関する陳情

2 所管事務の調査(報告)

- (1) 川崎市における新型コロナワクチンの追加接種に係る取組について

資料1 川崎市における新型コロナワクチンの追加接種に係る取組について

資料2 川崎市新型コロナウイルス感染症に係る予防接種実施計画[改定版]

参考資料 接種券等の見本

令和3年11月18日
健康福祉局

安全かつ確実に、可能な限り速やかに、希望する全ての市民にワクチンを接種できる体制の構築

1 追加接種(3回目接種)の概要

(1) 新型コロナウイルス感染症に係る予防接種

新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種について、予防接種法の臨時接種に関する特例を設け、厚生労働大臣の指示のもと、都道府県の協力により、市町村において予防接種を実施(接種費用は全額公費負担)

- ① 実施期間: 令和3年2月17日(市民向け接種は令和3年4月12日)から **令和4年9月30日まで(延長)**
- ② 接種対象者: 市町村の区域内に居住する **12歳以上の者**

(2) 追加接種の対象者等

【対象者及び回数】
18歳以上の者に対して、2回目接種から原則8か月以上の間隔において、1回の追加接種を実施

【開始時期】
令和3年12月1日から開始

【ワクチンの種類】
1・2回目に用いたワクチンの種類にかかわらず、**mRNAワクチン(当面はファイザー社製ワクチン)**を使用

(3) 都道府県及び市町村の役割

・市町村は、住所地で追加接種できるように**接種体制を確保**
・都道府県は、市町村を支援しながら**進捗を管理**

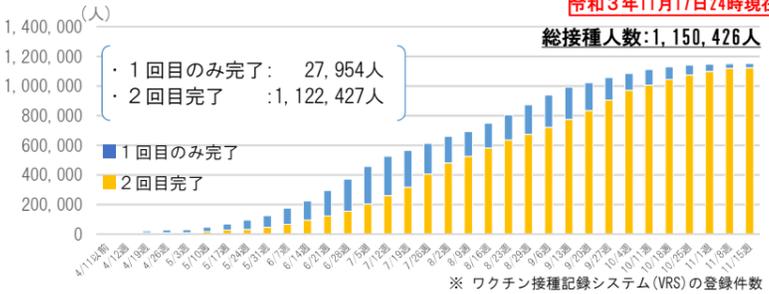
(4) 追加接種体制の確保

接種体制

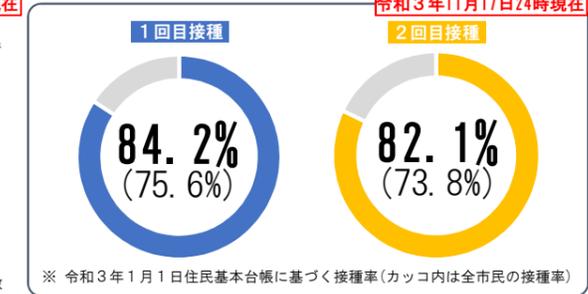
- 住民**
 - 2回目接種から一定期間経過した住民を抽出し、**段階的に接種券を発送**
 - 「**個別接種**」と「**集団接種**」を組み合わせる接種体制を構築
- 医療従事者等**
 - 医療機関において**職員等への個別接種(自院接種)**を実施
 - ※ 職員等の個別接種の対象とならない医療従事者等については「住民接種」の枠組で対応

2 新型コロナワクチンの接種状況

(1) ワクチンの接種人数累計[速報値]



(2) 対象者(12歳以上)の接種率[速報値]



(3) 各月の接種回数[見込値]

区分	R3.4以前	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11見込	合計
1回目接種	2.6万回	7.2万回	23.3万回	27.6万回	21.1万回	22.3万回	9.9万回	1.0万回	115.0万回
2回目接種	0.9万回	2.4万回	10.5万回	26.0万回	24.8万回	23.2万回	19.6万回	6.0万回	113.4万回
合計	3.5万回	9.6万回	33.8万回	53.6万回	45.9万回	45.5万回	29.5万回	7.0万回	228.4万回

3 集団接種体制の構築(市が設置する接種会場等による予防接種)

【方向性】 個別接種体制を補完するため、対象者等に応じて最適化・効率化を図りながら集団接種会場を運営

(1) 高齢者接種における体制(令和4年2月~4月)



高齢者の移動負担等を考慮し、各区に集団接種会場を設置

- 現在の個別接種体制(500施設以上)を踏まえ、**かかりつけ医療機関での接種を基本**に、集団接種体制を構築
- 開設時間は**午前・午後を中心に、土日を含めて週5日**の運営
- ファイザー及びモデルナの接種会場を確保
- 新規対象者等に対応するため、1・2回目接種を一部実施

(2) 一般接種における体制(令和4年5月~7月)



効率化・働き世代のニーズ等を踏まえ、南・中・北の集団接種会場に再編

- 定期接種化等の動向も見据え、**身近な地域の医療機関での接種を基本**に、集団接種体制を構築
- 開設時間は**午後・夜間を中心に、土日を含めて週6日**の運営
- ファイザー及びモデルナの接種会場を確保
- 新規対象者等に対応するため、1・2回目接種を一部実施

4 個別接種体制の構築(市内の協力医療機関による予防接種)

【方向性】 身近で安心してワクチン接種を受けられるよう、地域の医療機関の協力のもと個別接種体制を構築

(1) 追加接種に係る個別接種体制

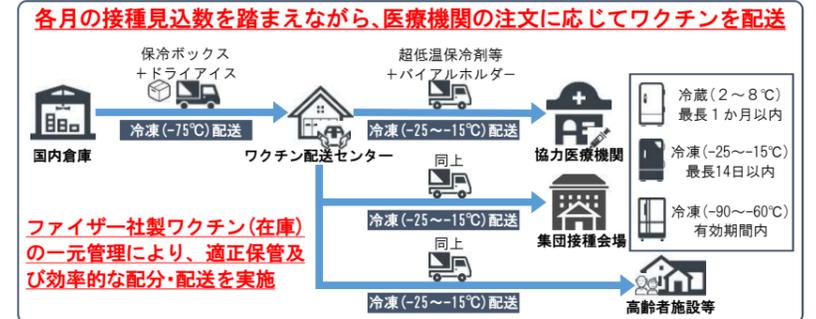
【協力医療機関の施設数】

当初 約230施設 → 現在 500施設以上 → 追加接種 現行体制の継続

【個別接種の実施】
かかりつけ医療機関での接種を基本に、
・かかりつけ患者以外の希望者への対応
・小児や妊婦等への対応
・新規対象者等への対応 など

身近な地域で接種できる体制の構築

(2) ワクチンの管理及び配送体制



(3) 協力医療機関の体制整備に係る支援

- 接種体制支援金(月額15万円)の継続を検討
- 超低温冷凍庫等導入支援金(上限60万円)の継続を検討
- ワクチン接種促進支援金(1,500円/回)の継続を検討
- VRS・予約管理システム・コロナワクチンナビ等の代行等

(4) 予約受付の円滑化に向けた取組

- かかりつけ医療機関による予約案内(かかりつけ患者への声掛け)
- 協力医療機関一覧の発送及び医療機関への予約サイト利用促進

5 巡回接種体制の構築(高齢者施設等への巡回による予防接種)

【方向性】 施設入所者等への接種を調整・支援するとともに、地域ニーズを踏まえた巡回による接種機会を提供

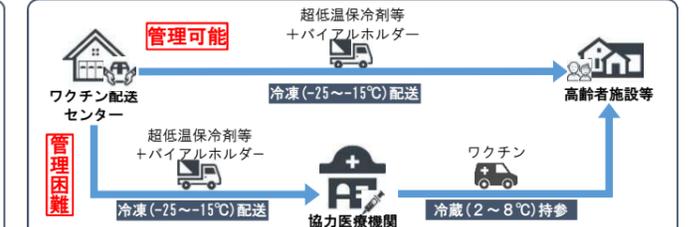
(1) 巡回接種体制の状況

【巡回接種の協力医療機関数(令和3年11月1日現在)】
154施設(追加接種においても引き続き協力を依頼)

【高齢者施設等の状況(令和3年11月1日現在)】

- ① 高齢者施設 計454施設
 - 老人福祉施設(56施設)
 - 老人保健施設(19施設)
 - 療養型医療施設(3施設) など
- ② 障害者施設 計514施設
 - 障害者支援施設(7施設)
 - 共同生活援助事業所(338施設)
 - 生活介護事業所(77施設) など

(2) 追加接種に係るワクチン配送



(3) 特別な配慮が必要な方への接種(地域巡回接種)

特別な配慮が必要な方に巡回方式により接種機会を提供

【特別な配慮を要する方】
・障害のある方(知的・精神)
・ホームレスの方 など

【臨時的な接種場所】
・障害者福祉施設
・自立支援センター など

(4) 巡回接種の体制整備に係る支援

- 接種医の確保に係る施設と医療機関の**マッチング調整**
- 応援医療機関負担軽減協力金(医師5万円・看護師2万円)の継続を検討
- 施設向け巡回接種ガイドラインの作成・周知
- 施設入所者と従事者の同時接種に係る調整等

6 追加接種に関連する他の取組

(1) 医療従事者等への追加接種

- 自院接種の意向確認及びワクチン配送
- 近隣の医療従事者等を受け入れての接種実施に向けた調整
- その他、円滑な接種実施に向けた支援

(2) 転入者等への対応

- 接種券発行に係る申請手続きの個別案内(発送スケジュールを含む)
- Web等を活用した申請受付の実施
- 接種状況の確認及び接種券の作成・発送

(3) ワクチンロス防止の取組例

- ワクチン接種協力者バンクの活用
- 急なキャンセル時の職員対応及び7本シリンジ等の活用による調整
- その他、状況に応じた柔軟な対応

7 今後の主なスケジュール

区分	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7
接種券	-	接種券発送(12月接種対象者)	接種券発送(1月接種対象者)	接種券発送(2月接種対象者)	接種券発送(3月接種対象者)	接種券発送(4月接種対象者)	接種券発送(5月接種対象者)	接種券発送(6月接種対象者)	接種券発送(7月接種対象者)
接種実施	各種事前の準備・調整	追加接種開始	医療従事者等への接種	高齢者への接種	一般接種(高齢者以外)への接種	2回目接種の終了から原則8か月を経過するタイミングに合わせて、「段階的に接種券を発送」し、「順次、追加接種を実施」			
接種見込(18歳以上)	-	0.9万人	2.4万人	10.5万人	26.0万人	24.6万人	21.7万人	16.9万人	5.0万人